

おおたでんき News



イマココ!

太田電機が携わっている工事をご紹介します!

阿久根市立三笠中学校の改修工事で、トイレや水回りの給排水設備、空調設備の工事を行っています。コロナウィルス禍や豪雨の影響などで工事が思うように進まないこともありましたが、でも2学期からはキレイで気持ち良くなった環境で、生徒の皆さんや教職員の方々が、勉強や運動などにまい進できるように最後まで丁寧な作業を心掛けていきます。



阿久根市立三笠中学校



改修中

改修前

暑中お見舞い 申し上げます

災害の知恵袋

誰しも突然の災害にあいたくはないですが、もしもあってしまった時のために知っておくことが大事です。

水害にあったとき（一般的な手順）

1. 被害状況を写真に撮る。
家の中も外（4方向から）も撮る。
2. 施工会社・大家・保険会社に連絡する。
水害にあったことを家の施工会社や大家に伝える。
3. 罹災証明書の発行を受ける。
市役所などに申し出て被害認定の調査を受ける。
4. ぬれてしまった家具や家電をかたづける。
あわてず作業し、後にはうがい、手指の消毒を。
5. 床下の掃除・泥の撤去・乾燥
床下浸水でも清掃と消毒は必須。乾燥は最低1ヶ月。
6. 掃除をするときの服装
基本は、暑くても肌の露出を避けること。
7. 復旧の前に確認をすること
避難などで家を離れるときはブレーカーを切っておく。
水害後、電気のブレーカーが落ちていたら漏電している可能性大。電力会社に相談。水道は復旧しても水が濁っていることがあるので、しばらく流してから。ガスボンベは元の位置から動いてしまった場合、業者に点検してもらう。



（震災がつなぐ全国ネットワーク・編 Web公開版2019.10月）

今年6月の豪雨災害は熊本県をはじめ、九州の広い地域で甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々、被災された皆様に心からの哀悼とお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りしております。

太田でんきの「この人」



水道部 米次 悟

- ◆資格：2級管工事施工管理技士
浄化槽設備士
給水装置責任技術者 他
- ◆趣味特技
自家農園で愛情こめて作った野菜でおいしい料理をつくること。
- ◆最近嬉しかったこと
コロナ禍の為に沖縄にいる孫達となかなか会えないがTV電話で「じいじ〜」と言われ楽しく話すと「元気に頑張ろう」と思えること。

昭和21年の創業以来、地域の方々の安全・快適な生活に貢献し、お客様の「笑顔」を生む『住宅設備の救急隊』として技術を磨き、信頼を積み重ね、皆様のライフラインを支えています。

でんきと水とエアコンの (株) 太田電機工業所

阿久根市港町65番地4 TEL:0996-73-2800
出水市大野原町304番地 TEL:0996-63-1966



～高齢者や障がい者（児）のためのほっと笑顔工房～

No. 56 * 2020年7月



ケア・リフォーム 暖家だんけ

ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

(株)太田電機工業所
ケア・リフォーム事業部
(☎0996-73-2073)
鹿児島県指定
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396

地域医療・介護の拠点に...

暖家は去る6月23日、出水総合医療センター様に10台の歩行器を納品させていただきました。梅雨の晴れ間のベストタイミング。出水総合医療センターは、南館が再開するため着々と準備が整っている最中でした。地域医療や介護支援の本拠地となる本センター様に納品し、担当者の方にも喜んでいただきました。今後もお役にたてますよう励んでまいります。



出水総合医療センター様



歩行器 納入

多職種ネットワークで在宅医療・介護連携を推進する MCS(メディカルケアステーション)とは?

メディカルケアステーション(MCS)は、全国の医療介護の現場で利用が推進されている、地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツールです。入院されている方が退院される為の支援などで、それぞれの職種が必要な動き・役割について相互理解し、情報共有するために役立てられます。

MCS概要



暖家も登録事業者として在宅医療・介護の一端を担っていきます。

介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください!





自立を助ける



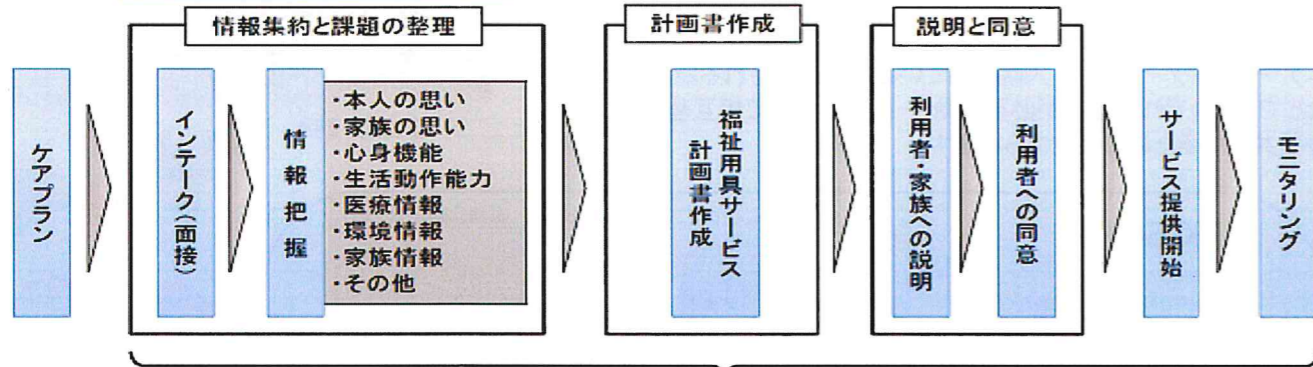
介護保険を使った福祉用具サービスとは？

介護保険の福祉用具とは
介護が必要な高齢者の日常生活を助けるため、または身体の機能訓練のための用具のことです。
要介護者である利用者が、自分の家で、自立した日常生活を営むことができるように、また介助者の負担の軽減のために、利用者の状態に応じて適した福祉用具を選びます。利用者ごとに個別の福祉用具サービス計画を作成しますが、利用者の希望、心身の状況及び、その置かれている環境が考慮されます。

介護保険の福祉用具貸与とは
利用者（要介護者、要支援者）ができる限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう福祉用具の利用を介護保険で支援するサービスです。
指定を受けた事業者から利用者の心身の状況、生活環境、利用者の要望等をふまえ、適切な福祉用具をレンタルできます。これにより日常生活上の便宜を図り、家族の介護の負担軽減などを図ります。

福祉用具は貸与を原則としています。
ただし、他人が使用したものを再利用することに心理的抵抗感が強い性質のものや、使用することでその形態・品質が変化してしまい再利用できないものなどは「特定福祉用具販売」の対象商品となり事業者が販売します。利用者が購入した費用は保険給付の対象となります。

福祉用具の貸与・販売の流れ



福祉用具専門相談員(福祉用具貸与・販売事業所)が関与

参考資料「健康長寿ネット」

本人の自立と介助者の負担軽減の可能性をひろく

高齢や病気のために筋力や身体機能が低下したり、退院後、自宅に戻った時、全く元の状態でなかったとしても、福祉用具・福祉機器を利用することで

- ・自分で起き上がる
- ・自分で歩く
- ・自分で排泄する
- ・自分で入浴できる
- ・自分で衣類の脱着ができる
- ・自分で食べる 等

ご本人の持つ能力を補填し、できるだけ維持・継続し体力・機能の回復による自立した生活を支え尊厳を守る可能性をひろくします。

福祉用具は介助される方にも、介助する方にも、安全で安心できる環境を整えるため常に進化・発展しています。

介護保険の福祉用具の対象用具

- ・車いす（付属品含む）
- ・特殊寝台（付属品含む）
- ・床ずれ防止用具・体位変換器
- ・手すり・スロープ
- ・歩行器・歩行補助つえ
- ・認知症老人徘徊感知機器
- ・移動用リフト（つり具の部分を除く）
- ・自動排泄処理装置

みんなの認知症介護をハッピーに♪



記憶の障害の成り立ちと対応方法

認知症の症状、認知機能の障害の一つに記憶の障害があります。
（障害とは何らかの原因で、機能が上手く働かないこと、機能を果たせないこと）
あなたは「記憶の障害」って聞くと、どのようなイメージを持ちますか？

認知症の人の記憶の障害（物忘れ）というと、自分の子供の名前を忘れる、食事を食べたことを忘れるなどと思われがちですが、忘れていくのは名前とか直前の行動だけではありません。今回は、記憶の障害の仕組みとその対処方法についてお伝えいたします。

1. 記憶の障害の仕組み

記憶は脳神経細胞同士の繋がりによって作られていると考えられています。

認知症の原因となる病気によって脳の神経細胞が、減少したり死滅すると脳神経細胞同士の繋がりが切れ記憶の障害がおこってきます。

記憶は、短期記憶、長期記憶、手続き記憶などいくつかの種類に分類され、また病気の進行度合いや病気の種類により記憶障害の種類や程度が異なります。

2. 短期記憶の障害への対応方法

認知症の初期（特にアルツハイマー型認知症）は短期記憶の障害が出てきます。

数分前のことを忘れて、何度も同じことを聞いたり、話したりします。また体験自体を忘れるので、直前の行動を忘れ、同じことを繰り返すこともあります。

× 避けたい対応

「さっきも言ったでしょ！」
「思い出して！」
など、忘れたことに対し怒る。無理に思い出させようとする。『忘れる＝悪い』という印象を与える。

○ 好ましい対応

- ・繰り返し伝える
- ・可視化する（メモの活用）
- ・時間でわかるようにする。（携帯などのタイマーを使う）

3. 長期記憶の障害への対応方法

認知症が進行してくると長期記憶にも障害が出てきます。

例えば
もう無くなった実家に「帰る」と言う。子供は成人しているのに「幼稚園に行かなくちゃ」と言う、など最近のことだけでなく、5年、10年単位で忘れてしまいます。

× 避けたい対応

「とっくに実家は無くなったでしょ」
「もう成人しているだろ」など、本人の認識を否定する。

○ 好ましい対応

「実家に帰りたいのね？」
「子供のお迎えの時間なのね」など、本人の認識を認めて話をします。

脳神経細胞の繋がりを増やすような努力をすることで認知症の進行を遅らせることは可能だと思いますが、物忘れ自体は「努力次第でどうにかなる」という精神論でどうにかなるものではありません。

病気が原因で、脳神経細胞が減少しその為、記憶障害が起こっているのです。無理に思い出させようとする、怒る、本人の認識を否定する、ということをしてもお互いに気分が悪くなり、辛いですし認知症の症状が進む可能性の方が高くなります。

上記のように、好ましい対応を心掛けることでハッピー介護につながっていきます。

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。



「どんより介護からハッピー介護へもっと楽になる考え方を伝えたい！」
林 炎子（もえこ）さん
（日本高齢者アタッチメント協会 代表）

看護師で認知症介護歴32年の林炎子さんは、認知症介護に携わってきた経験や知識を一人でも多くの方に知ってほしいと、「目からうろこの認知症セミナー」を開催されています。

<http://ninchishoucare.jp/blog/>

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。